



イベント・シンポジウム等実績報告書 配分事業費:551千円

SUACオープンサマーギャラリー2025

目的・趣旨 卒業生・修了生の卒業・修了展(2月)や有志による個展は開催されてはいるが、大学全体のギャラリーやシンポジウムは開催されていない。「SUACオープンサマーギャラリー」を企画・開催して恒例行事としたい。

日時・場所 令和7年8月2日～8月10日
静岡文化芸術大学 西ギャラリー

体制	(実施代表者)デザイン学部	デザイン学科	教授	中野 民雄
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	中川 晃
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	百束 朋浩
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	小川 直茂
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	小田 伊織
	文化政策学部	国際文化学科	准教授	武田 淳

内容

本学に在籍する学生は誰でも参加可能なイベントであり、作品、研究成果、プロジェクト紹介、個人製作物などを募集して、学内生だけでなく高校生や一般市民に公開展示(8月上旬)し、様々な意見や評価を受けるイベントである。イブニングレクチャーと称し、社会で活躍する講師(デザイン学部OB:キボリノコンノ氏、文化政策学部OG:大窪愛氏)をお呼びして、浜松発のデザインムーブメントの発信、大学のプレゼンスのアピール、市民と学生の交流をクリエイトする。



結果・成果

8月2日(土)～8月10日(日)までの計9日間、本学にてギャラリーの展示を開催した。また、開催期間中の8月6日(水)にはイブニングレクチャーを催し、さらに8月9日(土)～10日(日)の2日間は本学のオープンキャンパスと同時開催したことで、本学の学生や教職員をはじめ一般市民の方々だけでなく、本学を志す多くの受験生(高校生)や保護者の方々にも鑑賞いただけた。調整は非常に難航したが、オープンキャンパスと同時開催したことで集客が飛躍的に増加し、9日間トータルで約1,100人の集客があった。また、家康ちゃんと直虎ちゃんとの記念撮影会は、遠方からお越しになられた方々に浜松の想い出を提供できた。イブニングレクチャーの集客には課題が残ったものの、イベント全体としては大盛況となり、大学のプレゼンスの向上に多大なる貢献を果たした。展示、装飾、ポスター作製、企画マネジメント等、この企画に参加した学生は学びの成果と知識・技術の向上が図られた。受験生からは「絶対に大学に受かって、この素敵な企画に参加します!」という嬉しいメッセージも寄せられ、入試広報にも一役買ったのではないかと考える。

